

# つなまち

No.174  
2009.4.20 APRIL



最後の入学式

三箇小学校



津南原小学校

## 3月定例会:3/2~

町長施政方針	②
平成21年度 予算	④
施政方針・予算を問う	⑥
一般質問	⑫
平成20年度 補正予算	⑯
請願・陳情等	⑱
シリーズ 私もひと言	⑳

# 安心して生み、子育てできる環境の充実

国県支出金については、電波遮へい事業補助金、野菜等処理加工貯蔵施設交付金、ふるさと雇用再生事業補助金、美雪町住宅建設交付金及び埋蔵文化財調査事業補助金など総額では160%増の大幅な伸びとなっております。財産収入でニューグリーンピア津南の施設等貸付料を3千万円に減額。(地震風評被害、小雪による悪影響等を考慮)繰入金金は財政調整基金から4,100万円、その他各目的基金から5,623万円、町債は有利債の起債、臨時財政対策債の2億5千万円を含め対前年比34.88%増の4億4,550万円を予定しております。

総務関係では、地デジ対応として難視聴地域解消対策事業と平成20年度に策定された地域公共交通総合連携計画に基づき一部実証運転に入ります。福祉関係では、妊婦健診補助を5回から14回に、幼児医療通院費助成を小学校卒業までとし保護者の負担軽減を図ります。森林関係では、きのこ王国支援事業を、商工関係ではプレミアム商品券に補助し地域振興を図ります。

観光関係では、ふるさと案内人による秋山郷ツアーの更なる推進を図ります。建設関係では、大倉トンネルの貫通、405号の拡幅改良、所平、清水川原地内スノーシールド増設、雪崩防止柵工事等を継続します。

教育関係では、3つのねらいをこめて4月から2学期制となります。

①ゆとりの中で生きる力を育む ②しっかりと学ぶ ③特色ある学校づくり等、学期が長くなることで、じっくり課題に取り組む、教師も余裕ができ、子どもと向き合える時間も増大します。又、英語教育にも万全を期します。

病院事業では、健康寿命を延ばすよう、糖尿病等専門外来を充実します。運営面では、1億1千万円の一般会計から繰り入れをします。限られた財源でありますので、議員をはじめ、町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 町長施政方針

# 100年に一度の大不況 この難局をプラス志向に!!

100年に一度と言われる大不況。本町においても少なからず影響が及んでおりますが、地方が見直される好機でもあり、この難局をプラス志向で打開できるものと考え、雇用の確保と地域経済の活性化を図ってまいります。過疎地域の発展がなければ国は成り立ちません。新たな過疎対策法の制定に向け過疎地域自立促進連盟や町村会と連携し強い意志で取り組みます。

自律推進計画も5年目を迎え計画の見直し、自律の町づくり理念に基づき町民の皆様と協働して安全・安心に暮らせる町づくりを推進致します。

平成21年度の予算編成では財政の健全化を保ちつつ地域経済の進展と一層の住民負担の軽減を柱に予算の編成を致しました。

一般会計では、農林水産業費及び土木費の増額があり対前年比4.79%増の57億7千万円。特別会計につきましては老人保健の減及び下水道会計の事業費の減が大きく影響し、病院事業会計を含めた特別会計総額では52億9,775万円となり前年比4.94%の減となったものであります。これらを賄う財源であります。法人町民税において東京電力の原発停止の影響もあり、対前年比68.7%と大幅減の見込みとし、個人町民税についても現経済情勢から減収見込みとなりました。固定資産税の評価替えに伴う減収等もあり町税全体では対前年比95.4%の総額10億8,565万円を計上し、地方道路譲与税、自動車取得税交付金の合計では対前年比86.0%で計上。徴収面では厳しい経済情勢の中であるが納税意識の啓発により収納率向上に努めてまいります。



津南の宝物、ひまわり保育園の入園式



小学校卒業まで医療費負担が初回から4回まで530円、5回から無料

平成21年度予算

一般会計

**57億7,000万円**  
(前年比4.79%の増)

平成21年3月定例会が3月2日から26日までの会期で開催されました。町長の施政方針、教育委員の再任同意、条例改正、平成20年度の補正予算、平成21年度一般会計・特別会計の当初予算を審議し原案どおり可決しました。

平成21年度一般会計予算は前年度より2億6,400万円の増となりましたが、そのほとんどが国庫支出金と町債の増額で自主財源の町税は法人税と固定資産税の減収が大きくなり、289万円(前年比△4.65%)の減となりました。  
法人税は東京電力の原発休止の影響が主で、固定資産税は住宅等の新築が伸びない中での評価替となり減収を見込んでいます。  
町予算の40%以上を占めている地方交付税は2,000万円の増額を見込んでいます。

野菜等処理加工施設の建設

森林組合が事業主体となり農山漁村活性化プロジェクト事業により処理加工施設の建設。  
交付金 2億500万円

緊急雇用対策として新規事業の導入

国の緊急雇用対策の一環として、ふるさと雇用再生事業及び緊急雇用創出事業の実施。  
事業費2,500万円

町営住宅2棟建設を計画

美雪町の町営住宅は昭和40年代に建設され、老朽化も進んでおり建替えが検討されていましたが公営住宅建設事業により21年度建設される。  
4戸建て2棟  
事業費 1億7,098万円

三箇小学校、津南原小学校の閉校事業に補助金

平成22年3月末をもって閉校となる2校の閉校事業に220万円の予算が計上された。

小学校の耐震診断と補強設計が進められる

中津小学校の補強設計委託が計画され、小学校の耐震整備が本格的に始まる。

複式学級の支援及び充実

津南小学校を除くすべての小学校がまもなく複式学級となるため、町では複式学級支援のため独自の講師を採用し子どもたちの教育の充実を図っている。  
事業費 1,010万円



本年度建替えられる美雪町町営住宅



21年度の主な事業

地デジへの対応として共聴施設の改修

2011年に完全移行されるテレビの地上デジタル化に共聴施設整備補助の実施。事業費500万円

乳児・子ども医療費の助成を拡大

今までは小学校入学前までの子どもに対して入院費以外の医療費の助成をしていたが21年度から小学校6年生まで範囲を広げる。

後期高齢者に対し人間ドック経費の助成

後期高齢者医療制度に加入している被保険者は人間ドックを受けても補助を受けられなかったが21年度から補助対象となる。

さる被害の対策

さる被害の対策として学習会の講師謝金と捕獲に対する報償金の予算計上。(1頭 2万円の報償金)

県営中山間総合整備事業の工事着手

県営中山間総合整備事業が本工事に着手されます。21年度は加用、小池地内と上野地内が予定されている。



本格的に工事着手する県営事業(加用地内)

特別会計

**52億9,774万円**  
(前年比4.94%の減)

特別会計	予算額	前年比(%)
国民健康	10億33,563千円	△ 3.64
老人保健	729千円	△ 99.52
後期高齢	1億23,120千円	△ 10.06
介護保険	12億54,093千円	4.03
簡易水道	1億20,364千円	0.81
下水道事業	4億89,390千円	△ 22.47
農集排水	2億90,994千円	4.58
病院事業	19億85,493千円	0.47
合計	52億97,746千円	△ 4.94

# 施政方針。予算を問う



雪国津南でも太陽光発電が稼動しています

## 日本一の階段構想に町の力を

草津 進議員

**問** マウンテンパーク津南スキー場における未利用用地が多いなか、日本一の階段構想に対する具体的な取り組みは。  
**町長** 全国的にスキー人口が減少しているなか、本町のスキー場も同様である。地元関係者らが自ら取り組んでいただくことが宣伝に生きていく。活動に対しては町も支援していきたい。

## 町営住宅建設発注方法と太陽光発電システム導入は

吉野 徹議員

**問** 本年施行の町営住宅設計から施行まですべて町内業者(組合)への発注と、民間住宅を含む同施設への太陽光発電システム導入の可能性について。  
**町長** 発注は町内業者優先で進める。設計は指名競争入札、土木建築は制限付き一般競争入札と考える。太陽光発電システムは実証が必要で今後の課題と考える。

## 自律計画の見直しはどのように進めるのか

半戸哲郎議員

**問** 今年度予定されている自律計画の見直しはどのような進め方をするのか。又、過去5年間の評価は。  
**町長** 前回同様5月にチーム編成し6月から10月まで検討会、そして11月住民懇談会を開催し3月までに計画を作成し全戸配布する。  
**問** 住民主導の計画作成は考えていないか。  
**総務課長** 今後内部で充分検討したい。



今度こそ自律計画は町民主導で

## 森林組合への国庫補助が多いが町内貢献度は

藤木正喜議員

**問** 津南町森林組合に、20年、21年度でおおよそ3億円の国庫補助金が投入されるわけだが、町内農産物の利用度、雇用確保はどのようになるのか。  
**町長** 町内農産物のいっその活用と雇用をはかる。24年度目標で町内農産物155トンの増、出荷額6.5億円の増、30名の雇用確保である。



偏っていないか国庫補助金の使途

## 町の食料自給率は

大口 武議員

**問** 施政方針で国の自給率は40%、自給力2.6%とあるが、津南町の食料自給率はどうか。自給力2.6%とはどのような意味か。  
**町長** 平成14年、計算したところ、津南町の自給率は29.7%ということであるが年により大きく異なる。町民が全国の平均的な食生活をした場合の町内自給率は32.4%になり、100%町内産だけを食った場合43.6%の試算もある。自給力とあるのは農業就農者の割合で津南町の就業率は27.7%が高い。



結婚できる、出産できる環境づくりを

## 人口減少、どう防ぎ活性化に向けるか

大平謙一議員

**問** 人口減少は今後も続く。65歳以上の人は4,060人いる。毎年200人死亡して50人程度の出生では年間1,500人の減少。8年後には1,200人減で1万人を割る。出生を増加させるには結婚できる環境の整備、一歩踏み込んだ結婚相談が必要である。  
**町長** 40年前より結婚相談員制度を設けてきた。現在結婚相談員11名で地区相談会、ふれあい事業等を行っているが、あくまでも結婚へのチャンスを紹介し結婚の必要性を理解していただくことである。



米の消費拡大で自給率のアップ

## 子育て支援に病児・病後児保育を

滝沢茂光議員



学童保育は大事な少子化対策のひとつ

**問** 核家族世帯や新規就農者等近くに親戚等がない共働きの方々が安心していただける施設として病後児、病児保育所が各地にあるが、津南での実現の可能性はどうか。  
**福祉保健課長** 施設整備とマンパワーの確保が図られることが必要である。



通学時危険性の多い旭町通りの改良は

## 利用者負担軽減制度の見直しを

藤ノ木浩子議員

**問** 法人が行う利用者負担軽減制度は、対象要件が厳しい。町独自の裁量で対象者の枠を広げられないか。また施設によって軽減の程度に差があるので見直すべきだ。  
**福祉保健課長** 第二段階は法人減免利用しなくても、高額介護サービス費の支給で解消できる。制度の拡充、内容整備は事業者の実情を把握し検討する。

# 議案審議 自由質疑

3月17日、予算案に対し  
一般会計と特別会計について自由質疑を行いました。  
その一部を掲載します。



テナント募集中!

## 一般会計

### 所沢市との連携は

**問** 所沢市のふれあいセンターの借地料が65万円であるが、所沢との現状と連携はどのような状態にあるのか。

**答** こぶし団地の自治会の土地を借りている。平成5年の大冷害というようなことを教訓に交流施設として建設をした。借地契約は22年まであるが、1年後には今後のことも詰めなければならぬ。当初の目的は達成しているが、あそこで津南の物産を販売することによってアンテナショップ的

### リバーサイド食堂の応募はあるのか

**問** リバーサイド食堂を入所者募集しているが、家賃2万円ということも含め、応募者はあったのか。

**答** 応募期間中に応募は無かった。引き続き募集中である。温泉としても食堂があった方が相乗効果はある。使用料については、状況によって考える。

### 津南醸造への貸付について

**問** 津南醸造への貸付金が予算にあるが、今後の取り組みは。

**答** ふるさと財団からの借入金返済の貸付である。販売を2千万円伸ばさなければ償還していけない。消費の多い関東に向けての販売や農協のブランド化事業と合わせ、会社、町、農協あげて販売に取り組む。

### 温泉メタンガス対策について

**問** 総務費の中にメタンガス対策の修繕費が計上されているが、町有温泉だけでなく民間事業者に対してはどうか。

**答** 渋谷で起きたメタンガス爆発事故を契機として、温泉施設のメタンガス発生量の多いところに分離装置が義務付けられた。当町関係では物産館とクアハウスに引いている小下里温泉、竜ヶ窪温泉が基準値を超えているので21年度内に措置を講じなければならぬ。民間事業者についても今後設計等見て相談には乗る。

### 町有財産を民間利用できるのか

**問** 上結東、大赤沢の教員住宅の解体が365万円とあるが、このまま民間に貸せるなり、売却するなりはできないものか。

**答** 利用したいという情報がなかったので解体費を上げたが、利用したい方がおられたらご紹介いただき、相談をさせていただきたい。

### なじよもんホームページ作成費について

**問** 農と縄文体験実習館管理費にホームページ作成委託料60万円上がっている。これは18年に120万円上げて今更替するものか、それ以後毎年60万円の委託料が計上されているが更新料にしては高すぎるのではないか。また、職員ではできないのか。

**答** なじよもんに協力いただいている方で、ホームページを作っている方に安くということで60万円を委託している。月に2回随時新しいものを出している。職員の中では体制に無理がある。



充実した活用が望まれるなじよもん

### 中山間整備事業はどこをやるのか

**問** 県営中山間総合整備事業の中心は。

**答** 県が事業主体の事業であり、集落周辺とか小規模な所の基盤整備また用水路など21年度より工事に着手する。本年度着手予定しているところは、加用、小池地区、上野地区で15haほどの面積である。合わせて集落周辺であるので遺跡調査も行われる。町の負担は10%である。

### 森林セラピーについて

**問** 森林セラピーの施設整備工事外とは何か。

**答** コース整備とトイレ設置工事である。森林の中であるので、どういうトイレがいいか、また電気の引き込みするのか、ソーラー(太陽光発電)がいいのか検討段階である。

### きのこ王国支援事業とは

**問** きのこ王国支援事業費は町森林組合にいくという事であるが、国、県、町の負担割合はどうなのか。またきのこ生産農家は全部が森林組合に出す仕組みなのか。

**答** 林業関係の県単の補助事業である。町森林組合はじめ町内多くのきのこ生産組織があり設備充実等していかなければならぬ中で、この事業は価値があり効果がある。県50%の補助であり町の付け足しはない。また、個人で販売もあるが森林組合で共同販売をしている。

### 観光協会への補助について

**問** 観光協会への補助金が838万円上がっているが、津南祭り、ひまわり畑、雪祭り等具体的に出していないが全て含まれているのか。また、募金をしたのに火花が上がらないとか、民謡流しがないとか、主催母体はどこなのか。

**答** かつては分けて補助金を出していたが繰越等がで

### コンピュータ管理について

**問** 電算処理費4千900万円とあるが、昨年は5千400万円であった。その差は何か。

**答** 臨時的に発生する電算処理委託というものを除いて、経常的な部分に変わりはしない。

### 閉校跡地利用について

**問** 閉校した学校を使うに当たり、使い方の内容により補助金の返還とあるのか、また使えない職種などあるのか、借り賃はいくらなのか、など現時点ではどう考えるか。

**答** 公共施設は有効利用を図るべきであるという考えの下に10年経過で無償譲渡で

## 特別会計

### 下水道事業特別会計

#### つなぎ込みは進んでいるのか

**問** 使用料は昨年より上がっているが、現時点でのつなぎ込み状況はどうか、また21年の推進計画は。

**答** 21年2月末現在で公共下水道が59.5%農業集落排水が75.8%で合わせると65.0%である。昨年2月末61.1%であった。4ポイント伸びているが、21年もこのくらいで推移するものと考えられる。昨年も本管工事後3年以上つなぎ込みをされない方に手紙等で催促のお願いをした。

# 地域再生の足がかりとした

## 21年度予算

平成21年度  
一般会計、特別会計に対する  
討論を掲載します。

### 一般会計

反対討論 藤木 正喜

森林組合、農協に2億円強の支援をし、中央商店街活性化には15万円の助成と偏っている。国による緊急雇用対策費が国内で2,500億円あるがならん町民に示されていないので活用しようがない。自立推進計画の今年度見直しも、今までどおり行政主導と言われる。過去の推進計画80%達成は疑問である。

賛成討論 河田 強一

100年に一度と言われる大不況のなか、わが町にもその影響が出てきており今後が心配である。このような状況下での新年度予算、新規項目が少なく感じられるが、後世に負担を残さない、健全財政の堅持こそ一番重要。町民生活の安心を目指し、細部まで配慮が行き届いた予算である。



中央商店街の活性化は緊急課題だが

賛成討論

藤ノ木 浩子

雇用対策交付金2,500万円を有効活用し、恒常的な仕事として定着できるように。雇用破壊のなか、病院に行かない子供を出さないためにも子供の医療費助成拡充の意義は大きい。

妊婦健診補助金14回も同様だ。農業では津南農業を守るうの声を町民に訴え、町民の声を共に全国へ届けてほしい。



雇用維持のため町内でもワークシェアリングが始まる



### 介護保険会計

反対討論

藤ノ木 浩子

見直しの度に繰り返される保険料の値上げは深刻だ。国庫負担割合を給付費の50%まで引き上げ、保険料を抑える仕組みに改善するよう国に働きかけるべきだ。介護認定の仕組みを改善し、介護度の軽度化がすすめば、サービスの利用制限につながる。専門家の判断で適切な介護の提供を。



町内の新たな介護施設、家庭的ですね



幸せふってこ〜い!!

# 定額給付金の支給方法と町の取り組みを

町長・・4月中旬に口座振り込みとする

草津 進 議員

## 津南町における 経済対策を示せ

**問** 一〇〇年に一度と言われている、世界的な経済危機。津南町における調査と現状把握、今後の対応について、どう進めているか。

**町長** 本町においても輸出、建築、建設関連の企業があり受注が半減している所もある。企業訪問をし、実態調査を行ったが、受注が減ったからといって直ちに雇用調整はしないということ

である。町の対応としては新潟県の制度融資に対して信用保証料の補助を行うことと、商工会が発行する20%のプレミアム商品券の補助を行う。

**問** 定額給付金の進行状況と支援方法、実施に向けての町の取り組みは。

**町長** 電算からの支給台帳を待つている。申請書の受付は4月1日からとし、4月中旬に一回目の支給を行う。

## 交流人口の増加、 観光振興策について

**問** 4回目の「大地の芸術祭」「新潟デザインেশョンキャンペーン」「天人」 「トキめき新潟国体」の開催など全国的に注目の集まる大事な一年。町としての関わり支援対応は。

**町長** 本年度は観光施策において重要な年であると認識している。大地の芸術祭は十日町市と連携する中で、地域の魅力をアピールしていく。

## 町有財産の有効活用と 学校の跡地は

**問** 三箇、津南原小の利用は。  
**町長** 地域の皆様から提案をいただき検討を行っていく。



芸術祭は新婚気分

# 町の公共工事発注に工夫を

町長・・今年より制限付一般競争入札にしている

大平 謙一 議員

## 町の公共工事、一部の 業者に偏りすぎ

**問** 公共事業が少ない中、工事現場の所在地、過去の実績等から特定の業者が優先して落札するのも談合の形態の一つだ。町の工事にもある。また落札者と2位の入札者が僅差にもかかわらず、小さな業者は落札できずに下請けに回る現実が異常ではないか。

**副町長** 地域割ができていておかしいということであるが、私も結果としてそのようになっているとしか言いようがない。

**問** 58回も入札に参加し一度も落札できず、10回も2位になっている実態は異常。

**副町長** 悔しさがあるとすれば、本気で競争に参加してもらいたい。

**副町長** そのことについて私どもが業界の指導等はいたしかねる。

## 津南醸造への支援、 公金使用の正当性は

**問** 町が出資している津南醸造や竜神の館は今赤字経営である。町の活性化、



少ない工事、ていねいに！

# 限界集落への対策について

町長・・助成金制度は提案として受けとめる

高橋 孝男 議員

## 限界集落、定住人口増、 雇用創出策は

**問** 限界集落出身者の帰郷や転入者に助成金を出してでもその改善に努めてはどうか。

**町長** 限界集落への対策の提案として受けとめる。

**問** 年間を通してボランティアを募集する考えはないか。

**総務課長** 今のところボランティアの募集予定はない。職員が出向したり、老人給食配達等で見守りたい。

**問** 定住人口の増に空き家利用、新規定住者に住宅や宅地の無料化、助成金で人口増に努める対策はどうか。

**町長** 空き家調査の結果は306軒、うち再利用可250軒、売却可22軒である。提案の優遇策は検討したい。

**問** 雇用創出でNPO法人や新規団体設立に助成制度の対応はどうか。

**町長** 雇用は国の補助制度充実が重要であるが町の支援も考慮する。

**問** 町民の医療福祉を考える上で新十日病院を考える協議会は重要。この協議会への加入の意志は。

**町長** 公設民営で厚生連が適切かの判



春を感じる山間集落

断も重要であることから議論を深めるために協議会加入の意志はある。

**問** 要介護老人増、独身者高齢化により将来の福祉対策は十分か。

**福祉保健課長** 施設には限りがあるが、今後第4期介護事業計画の中でミニ特養施設の他、身近な地域の中で介護への手をさしのべる体制作りも必要と考える。

# 観光振興からの町づくりについて

町長・・町民自らが取り組む事が重要

伊林 康男 議員

## 観光振興について どのような認識か

**問** 国県をはじめ各市町村でも観光振興が重要施策の一つに位置づけられている。観光産業は極めて裾野の広い産業だけに、国では観光立国を掲げ観光庁を設置し「観光立国推進基本計画」を策定し、各都道府県の観光振興を推進しているが、町長は我が町の観光振興についてどのような認識が伺えます。

**町長** 外国人観光客を増やす「ビジット・ジャパン・キャンペーン」が実施されているが国内においては、観光による交流人口を増加させ、地域活性化を図ろうとしている。それには、地域に魅力がありその地に行きたい、体験してみたい癒されたいという、様々な思いが適えられ、ひきつけるものが重要である。それは歴史、自然、祭りや行事であり、そこに住む人々の人情やもてなしの心である。本町は四季の鮮明さや多様な資源、農作物、景観等がある。これらの資源をいかに活用していくかであり、それには町民自らが自信と誇りを持って取り組むことが重要である。



“最高”夜のひまわり

## 観光立町推進条例の 制定で観光振興を

**問** 観光振興を強力に促進する為に「観光立町推進条例の制定」について伺います。

**町長** 観光振興ビジョンや行動計画は、観光協会が主体的に取り組む、観光関連事業所も参加しやすく、町民に対しても関心と参加意欲を高揚させることが重要と思われる。

# 山菜は地域資源として活用し県外入山者阻止を

町長・交流人口増の面から否定もできない

滝澤 茂光 議員

## 山菜は地域資源として町内で活用し町の振興に

**問** 毎年入山禁止の看板を無視し県外から山菜取りに来続け、アスパラや農産品まで盗る悪質な事件もあとを絶たない。山菜は地域資源として町民の収入に結び付けるべきであり、断固たる町長の決断を求める。

**町長の反問** 有効手段を示してほしい。答 ワラビ・ゼンマイ等の山菜は地域の食材であることを明示し探ることを禁止する看板を設置することで警察の取り締まりも容易になる。

**地域振興課長** 地域防犯組合の要請があれば支援したい。

## 名水が育むお米と津南野菜で究極の一品を！

**問** 魚沼コシは冷めてもなお美味しいことから「おにぎり」に。津南野菜と婦人グループの味噌を活用し究極の「おにぎり」開発を。

**町長** 津南米を指定している東京のホテルもある。企業も活用しながらブランドを作り上げていきたい。

**問** 大きな団体客に食事の対応ができ



津南の山々は山菜の宝庫

ない現状、「おにぎり」なら屋外や体育館、なじみもんでも対応可能であり、食堂事業者の協力があれば厨房も必要としないし滞在時間を取っていただけると考えるが。

**地域振興課長** ひまわり畑等大勢来るが食事対応ができていない。今後検討したい。

## 龍ヶ窪の環境保全対策の強化を

**問** 入場者の増加でゴミ対策等対応しきれない現状であり、入場料を徴収し対策を強化することも必要な段階にきていると考えるが。

**地域振興課長** 龍ヶ窪対策委員会が主体的に取り組むならば支援してまいりたい。

# 戦後最悪の経済危機について

町長・アメリカ型経済は既に終わり

大口 武 議員

## 危機の認識と解決の方向は

**問** 日本経済はGDP（国内総生産）年率12.7%のマイナスとなり急激に悪化しており、そのなかで輸出大企業は巨額な内部留保を積み上げながら、非正規労働者の首切りが行われている。小泉構造改革は社会保障の改悪、増税で国民負担は年間13兆円も増加し、その一方大企業、大資産家には年間7兆円もの減税である。



この不景気、男になんかまかされない！

さらに三位一体改革は地方自治体財政に激痛を与えた。この経済危機についてのご認識を伺いたい。

**町長** ここ十数年、アメリカ型の市場原理主義中心の経済活動と政策運営を行ってきたことが現在の状況を招いた大きな原因と思う。

構造改革の名のもとに長く培われた日本型のシステムを壊し、地方への投資を減らし、労働者を2分する法改正を行ってきたツケと思う。

大企業が内部留保を取り崩さず雇用を切る手段をとっているが、地方の小企業は賃金を下げても雇用を守る努力をしている。このときこそ政治は地方の実態を直視し早急に対処すべきである。

アメリカ型経済はすでに終わり、本来の日本としての有り様を考える時代である。今、世界の課題は飢餓が増加している食料問題であり、水不足であり、温暖化が進んでいる環境問題である。食料・水・環境どれも農業、農村の受けもちであり、これからの世界の戦略物資は農業、農村にこそ存在する。地方の我々自身がこの資源をどう生かすかということが大事だと思う。

# 安心して利用できる介護保険に

町長・町民の生活を守ることが第一

藤ノ木 浩子 議員

## 重い負担を求めないしくみを！

**問** 要介護認定の介護判断基準の変更と調査項目の削除はさらなる介護認定の軽度化を進めるのではないか。

**町長** 1次判定の制度向上を図る介護認定調査の改正であり、2次判定の審査会の役割も重要性が増すのではないかと。調査項目の中では能力を評価し、介助の方法が行われているかいないかを把握し、介護の必要性から判断するものではない。

**問** 少ない年金で暮らしている人が、介護が必要になった時、重い利用料負担で苦しんでいる。保険料負担段階で第2段階のAさん（95歳）は、年間27万9千円の年金収入しかなく、生保や老齢福祉年金の第1段階に該当させるべきではないか。

**町長** 収入金額の面では大変困窮した生活と考えられるので生活保護申請を申し出ていただければ、対象を認定されると思われる。担当職員に相談され適切な道を選択していただきたい。

**問** 施設利用料は、居住費、食費が全額自己負担で、第1段階の方より少ない年金で暮らしている人が、介護が必要になった時、重い利用料負担で苦しんでいる。保険料負担段階で第2段階のAさん（95歳）は、年間27万9千円の年金収入しかなく、生保や老齢福祉年金の第1段階に該当させるべきではないか。



おばあちゃん、おっはよ！

い年金のAさんは、年間14万4千円も多く負担しなければならぬ。特養入所約10年近くなるAさんは生保の対象とならず、年金暮らしの息子も負担が重く苦しんでいる。孫にも扶養義務があると考えるか。

**福祉保健課長** 扶養義務者としては当然のこととして、孫でも扶養すべきものと考ええる。

**町長** 町は町民の生活を守るのが第一であり、国の政策の有り様にしつかり提言し見きわめ、足らざるところは町が支援。国県に要望強める。

# 津南醸造の町出資金は税金

町長・提案者の一人重く受けとめている

大島 知美 議員

## どうする津南醸造

**問** 農協から、もうこれ以上津南醸造に対する支援は限界に達しているという説明があった。今回町に対して農協より津南醸造に関する文書による申し入れが行われ、その返答を二月末に回答願いたいとのことである。その内容は、又その返答は。

**町長** 農協と町との信頼関係の中にあつて、文書で申し入れというふうな通り一遍のやり方はいかなものかということ、組合長、専務理事においていただき、腹を割って話し合いをし、今後とも存続に向けて共に頑張っていくという話しをさせていただいた。

**問** 今後どのように対応していくのか。

**副町長** 町としてもできる支援策を話し、今議会の補正予算で審議をお願いしている。

**問** 町が出資している5千万円についてどう思うか。

**副町長** 平成8年の臨時議会で議決をもらい出資した。当時高付加価値型農業を目指し農家自身が作る酒ということで出資を決めた。



これを見よ、伝統なんか関係ない！

**問** 出資金は税金である。当時、議員質問の中で、第三セクターではないのか、経営が困難になったら支援するのかわという質問に対して、町は一回も確な返答もなく、ただ「ご理解を願いたい。」ということだった。このご理解とは。

**副町長** 出資について賛同いただいた、ということである。

**問** これからの町の関与は。

**町長** 提案者の一人として、個人的にも深く掘り下げて考え重く受け止めている。

# 20年度一般会計補正予算

## (4号・5号)

景気対策に伴う特別交付税及び普通交付税や定額給付金補助及び地域活性化・生活対策臨時交付金等の増額に係る大幅な補正予算(4億9,085万円の増額で総額61億9,820万円)が審議され賛成多数で可決された。

### 歳入

町税	△3,500万円
地方交付税	2億5,395万円
分担金	△290万円
国庫支出金	3億5,573万円
県支出金	△1,787万円
寄付金	127万円
繰入金	△1億
繰入金	1,139万円
諸収入	2,661万円
町債	△500万円

### 歳出

総務費	1億9,667万円
民生費	226万円
衛生費	1億1,144万円
労働費	100万円
農林水産業費	790万円
商工費	2,135万円
土木費	7,087万円
消防費	65万円
教育費	7,976万円
災害復旧費	△105万円

### 主な補正の内容

<b>総務費</b>	定額給付金給付事業 1億9,030万円
<b>民生費</b>	子育て応援特別手当 交付金事業 575万円
<b>衛生費</b>	クアハウス津南修繕費 592万円 津南病院運営費補助金 1億532万円
<b>労働費</b>	緊急雇用創出事業 100万円
<b>農林水産業費</b>	津南醸造(株)貸付金 390万円
<b>商工費</b>	地域消費拡大商品券補助金 350万円 つなぎ資金預託金 2,000万円
<b>土木費</b>	町道舗装改良事業 7,140万円

耐震計画が進められる総合センター



消費ハイブ等修繕費

930万円

### 教育費

小中学校校舎整備工事	2,120万円
備品購入費(教師用パソコン)	2,400万円
生徒選奨費(各種全国大会)	232万円
公民館修繕費	501万円
総合センター耐震2次診断補強設計委託料	1,223万円
総合センター排水設備工事	590万円

# 20年度特別会計補正予算

## 国民健康保険会計

補正額 5,827万円  
総額 11億2,568万円  
(主な内容) 被保険者療養給付費及び高額療養費の負担増額

## 後期高齢者医療会計

補正額 167万円  
総額 1億3,856万円  
(主な内容) 医療制度円滑運営事業システム改修委託料

## 介護保険会計

補正額 △3,128万円  
総額 12億2,348万円  
(主な内容) 介護サービス及び予防サービス等給付費の減額

## 簡易水道会計

補正額 495万円  
総額 1億4,282万円  
(主な内容) 繰越金及び工事請負差額分を基金に積立

## 下水道事業会計

総額 6億4,251万円  
(主な内容) 財源変更のみで総額には変更なし

## 農業集落排水事業会計

補正額 12万円  
総額 2億8,583万円  
(主な内容) 消費税の増額



町民の安心と健康を守る津南病院

## 病院事業会計

(補正予算の内容)  
入院患者及び外来患者の減少と診療報酬の改定により医業収益が減となり町補助金1億円を増額する。さらに不足分に対しては、経営改善計画をたて収支の均衡の回復に努める。

### 一般会計補正予算に修正動議が提出される

3月5日20年度補正予算の審議において3名の議員提案により一般会計補正予算の一部を修正する動議が提出され、審議の後「記名投票」による採決が行われました。賛成4名、反対11名の結果となり修正動議は否決されました。一般会計補正予算は賛成11名、反対4名で原案どおり可決されました。

### (修正の内容)

農林水産業費の津南醸造(株)への貸付金390万円を削除して繰越金に入れる。



期待のかかる津南醸造(株)

# 議会報告会開催のお知らせ

議会報告会を次の日程のとおり町内8会場で開催いたします。

議会報告会は、住民と協働の町づくりを実施するため、町政の情報や議会活動の状況を地域に出向いてご報告、ご説明し、議会活動に対するご批判やご意見、さらには町政に対するご提言などを直接お聞かせいただき、今後の議会活動や町づくり等に反映させるために、集落と共催で開催させていただきます。

ご近所お誘いあわせの上、ご来場くださいますようお願いいたします。

なお、**当日はこの「議会だより174号」**をご持参ください。



大勢の皆様の参加を

## 平成21年「議会報告会」開催日程

◎は班長

開催期日	時間	会場	出席議員
4月30日(木)	午後7時30分～9時まで (延長30分)	卯ノ木公民館	大口武、◎大平謙一、伊林康男、福原照男
		小島公民館	◎草津進、藤ノ木浩子、高橋孝男、藤木正喜
		赤沢集落センター	高橋満男、◎河田強一、根津勝幸、滝澤茂光
		反里口公民館	◎吉野徹、藤ノ木富有、大島知美、半戸哲郎
5月1日(金)	午後7時30分～9時まで (延長30分)	割野公民館	◎吉野徹、藤ノ木富有、大島知美、半戸哲郎
		鹿渡公民館	大口武、◎大平謙一、伊林康男、福原照男
		大井平公民館	◎草津進、藤ノ木浩子、高橋孝男、藤木正喜
		所平克雪センター	高橋満男、◎河田強一、根津勝幸、滝澤茂光



来訪者も気軽に…机の配置

## 条例改正

- ◆津南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
- ◆津南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定
- ◆津南町介護従事者処遇改善臨時特例基金の設置管理及び処分に関する条例の制定
- ◆津南町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◆津南町子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◆津南町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定
- ◆津南町職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◆津南町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◆津南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

## 請願

- ①金融危機に端を発する大量解雇・雇い止めから雇用とくらしをまもる緊急対策の強化を国に求める意見書提出を求める請願 採択
- ②アフリカ・ソマリア沖への自衛艦派遣に反対する請願 不採決



介護の充実でサッカーを楽しむ皆さん

## 陳情

- ③平成21年度税制「改正」関連法案において、消費税の税率引き上げを行わないことを求める請願書 採択
- ①C型肝炎被害者救済の意見書採択に関する陳情 採択

## 人事

教育委員に  
滝沢和彦氏再任



滝沢和彦氏

平成21年4月2日に任期満了となる教育委員の滝沢和彦氏が議会の賛成多数の同意で再任されました。

(滝沢和彦氏の略歴)

- 平成13年4月～平成17年3月 津南町立津南中学校校長
- 平成15年12月～平成17年3月 津南町社会教育委員
- 平成17年4月3日～ 津南町教育委員
- 平成18年4月26日～ 津南町教育委員長

# シリーズ・町民の声 私もひと言



## 「ホトケドジョウの如く」



卯ノ木 柳澤 芳嗣さん

「ホトケドジョウ」を知っていますか。トボケ顔で動きがまた変わっていて、面白いのです。見ていると釘付けになり、時の経つのも忘れそうです。希少種で殆ど見る事が無くなった種で、保護・増殖に取り組んでいる所もあるそうです。上下運動を繰り返しながら動き回り、水中で頭を上に向け垂直に近い状態で時々休みの体勢をとるのです。“休め・休め”何を考えている？といつも思っています。

社会情勢は益々先行きの見えない状況となり、多くの人が大変な苦勞をしている現実。この状況下では、物事を性急に考え行動を起こす時ではなく一息入れながら、どうしたら良い方向に転ずるのかをじっくり考えてみる時期ではな

いでしょうか。今まで一生懸命頑張ってきたのだから。

町では自律推進を掲げ、住民検討委員会も立上がり議論が為されている事と思いますが、従来と激変がある訳ではなく、時代の状況変化に応じた中で、町民の代表である議員各位から、町民の意見を行政に反映させてもらう事には変わりはないと思います。私たちの一声が町に活気を呼び、豊かで暮らしやすい町づくりへと繋がる事を自覚し、じっくり考えてみる時間を持ちたい。また議員各位の活動に対する協力と自律への気持ちを高める事が、一町民の努めと思っています。

・・・ホトケドジョウ・・・

## 「なじょもん」に古民家がほしい



駒返り 石沢今朝松さん

大正から昭和生まれの私たちが作った「津南わら工芸部会」の仲間は15名ほどです。「ほど」とは、どなたでも自由に気楽に参加できるからです。雪国津南のわら製品の復元が目的です。

今一番うれしいことは、若い女性会員が積極的に復元に取り組んでいることです。わら仕事を通じて津南の文化が見えてくるのです。会員も6集落からの参加があり、各々の生活文化、百姓の文化、道具類の文化などいわゆる昔話が語られます。私の最も聞きたい話題です。

今の活動場所はそだき苑ですが、津南の文化活動ができる最も相応しい場所があります。「津南農と縄文の館」です。そこに雪国の茅葺の古民家がほしいのです。昔の生活用品に民具など手に触ってみるもよし、農具など外の畑で使うもよし、ことによれば道具類など作って昔と今の生活文化の違いなどの話し合える館がほしいのです。

雪国津南の茅葺古民家でわら仕事でもしながら津南の民具類に囲まれて、昔話でも・・・と夢んでいます。



わら工芸品

「百年に一度の危機」そんな言葉が全世界を駆け巡る世相の中で、七年に一度の善光寺の御開帳が行われております。創建以来千数百年の歴史の中で社会から疎外された弱者にも等しく救いの手を差し伸べ、未来に向かって大きな希望を灯し続けているそうです。

町長施政方針、当初予算に要旨が表れておりますように、町民の明るさ、寛容さ、許すところで、他者を受け入れるところが、この1年力を合わせてがんばりましょう。

編集後記

